

道路整備促進期成同盟会 高知県地方協議会 令和3年7月15日(木) 提言活動報告

令和3年7月15日(木)、四国8の字ネットワーク未事業化区間の早期事業化や防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策に必要な予算・財源の当初予算における安定的な確保などについて、国に対してWebで提言活動を行いました。

提言項目

- 一、四国8の字ネットワーク未事業化区間の早期事業化
- 一、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策に必要な予算・財源の当初予算における安定的な確保
- 一、南海トラフ地震対策及び通学路等の交通安全対策に必要な予算の確保
- 一、橋梁等、道路施設の予防保全への転換に必要な技術的支援及び予算の確保



国土交通省 石田優 国土交通審議官 への提言



石田国土交通審議官



池田会長
(中土佐町長)



小田副会長
(越知町長)

【提言概要】

●提言項目の説明 (池田会長)

- ・海・山に囲まれ、東西に長い本県は、高規格道路をはじめとする道路の整備が遅れている。
- ・県民の利便性や防災力の向上、県経済の底上げにつながる「四国8の字NWの未事業化区間の早期事業化」など4項目を提言させていただく。

●5か年加速化対策の当初予算による確保 (小田副会長)

- ・国道33号や国道494号では、5か年加速化対策予算などを活用して道路整備を実施。
- ・5か年加速化対策を当初予算で配分いただくと、大口ツトでの発注により、工期短縮、早期効用が実現。

石田国土交通審議官からは、

- ミッシングリンクの解消をはじめ、災害発生時の応急救助活動等が円滑に行える環境整備は非常に重要。
 - 5か年加速化対策予算を円滑に、使いやすい形で確保する必要がある。
 - 当初予算での必要性について、現場の声を発信して欲しい。
- と力強いお言葉をいただいた。

国土交通省 佐々木正士郎 道路局次長 への提言

【提言概要】

●南海トラフ地震対策に必要な予算の確保 (中平副会長)

- ・南海トラフ地震発生時に支援物資などの輸送ルートとなる「県道中村宿毛線」は、狭隘かつ落石等の危険箇所が多く存在。
- ・予算確保によるバイパスの整備は、防災力向上に大きく寄与。

●通学路等の交通安全対策及び予防保全への転換 (横山副会長)

- ・通学路等の安全を確保するため、引き続きの支援をお願いする。
- ・管理橋梁数の多い市町村では、技術者不足と点検調査費が課題。
- ・技術者の育成・確保のための更なる支援と、着実な維持管理を行うための予算の確保や起債充当などの制度設計が必要。

佐々木道路局次長からは、

- 中村宿毛線のバイパスについては、5か年加速化対策での整備になると思うが、予算確保に努める。
 - 通学中の子供の命が守られるよう対策を進めていきたい。
 - 予防保全について、国としてもバックアップしていきたい。
- と心強いお言葉を頂いた。



佐々木道路局次長



中平副会長
(四万十市長)



横山副会長
(安芸市長)